

第5回

東京産業安全衛生大会

2008

平成20年7月7日(月) 午後1時30分～
午後4時50分

九段会館

東京都千代田区九段南1-6-5



事例発表 ●●●●●●●●

OSHMS 試行から全社導入へ
横河電機株式会社

健康づくりのための取り組み
ソニー株式会社

主催：東京労働局 各労働基準監督署(支署)
社団法人 東京労働基準協会連合会 各地区労働基準協会
協賛：東京経営者協会 日本労働組合総連合会東京都連合会 建設業労働災害防止協会東京支部 陸上貨物運送事業労働災害防止協会東京都支部会
港湾貨物運送事業労働災害防止協会東京支部 林業木材製造業労働災害防止協会東京支部 (社)日本ボイラ協会東京支部
(社)日本クレーン協会東京支部 (社)ボイラ・クレーン安全協会東京事務所 (社)建設荷役車両安全技術協会東京支部 東京産業保健推進センター
後援：東京都

第5回 東京産業安全衛生大会 2008

プログラム

- 1** **開会** 13:30
- 主催者挨拶** 村木 太郎 東京労働局長
羽矢 惇 社団法人 東京労働基準協会連合会会長
- 2** **来賓挨拶** 13:45
- 西本 徳生 中央労働災害防止協会常務理事
齋藤 隆則 東京経営者協会副会長
遠藤 幸男 日本労働組合総連合会東京都連合会会長
- 3** **安全衛生表彰** 14:00
- 14:30
- 休憩 <15分>
- 4** **事例発表 ①** 14:45
- 「OSHMS試行から全社導入へ」**
横河電機株式会社
総務部管理グループ 安全管理担当課長 須藤 昭彦 15:05
- 事例発表 ②**
- 「健康づくりのための取り組み」～メンタルヘルス問題を中心にして～**
ソニー株式会社
人事センター産業保健部 産業医・医学博士 藤田 享宣 15:25
- 5** **特別講演**
- 「夢と人生」**
ルネサス高崎女子ソフトボール部総監督 宇津木 妙子
シドニー、アテネオリンピック日本代表監督 16:35
- 6** **大会宣言** 郷田 道雄 建設業労働災害防止協会 東京支部副支部長
- 閉会** 16:45

特別講演

「夢と人生」

うつぎ たえこ
宇津木 妙子

ルネサス高崎女子ソフトボール部総監督
シドニー、アテネオリンピック日本代表監督



宇津木妙子プロフィール

- 1953年 埼玉県生まれ。川島中学1年からソフトボールを始める。星野女子高校を経てユニチカ垂井でプレー。
- 1974年 世界選手権出場。
- 1985年 引退後、日立高崎の監督に就任。全日本総合選手権5回優勝、日本リーグ3回優勝。
- 1997年 全日本監督就任。1998年世界選手権銅メダル。
- 2000年 シドニーオリンピック銀メダル。
- 2004年 アテネオリンピック銅メダル。
- 2005年 国際ソフトボール連盟(ISF)殿堂入り。
- 現在 ルネサス高崎ソフトボール部総監督。
- 2006/4~ (財)日本ソフトボール協会 常務理事、普及委員長、国際委員
- 2007/2~ 文部科学省 中央教育審議会委員
- 2007/4~ 日本スポーツ少年団 副本部長など
- 著書 「努力は裏切らない」 他。

2000年シドニー五輪、2004年アテネ五輪で全日本女子ソフトボールチームを率いた監督が、自らの経験から指導者の責任や夢を持つことの大切さ、コミュニケーション方法やチームワーク作りについて語ります。その中で常に大きな夢(目標)を持ち、そしてその夢が大きければ大きいほどその

壁は厚く、夢を実現するための努力は辛く苦しいことの連続であっても、夢(目標)に向かってチャレンジしていくことがいかに大事であるか、そして、自己の気持ちをいかに高め、困難をどのように乗り越えていくべきかを、講師自身の体験を交え、具体的な実践方法など熱い想いを伝えます。

事例発表

1

OSHMS 試行から全社導入へ

横河電機株式会社 総務部管理グループ 安全管理担当課長 須藤 昭彦

YOKOGAWA グループは「安全衛生は経営の基盤である」という認識の下に、YOKOGAWA グループで働く人々の安全の確保、健康の保持増進および快適な職場環境の形成を図ることを目的に、永い間、安全衛生活動に注力して参りました。しかし、増減を繰り返す軽微な事故を低減し、重大災害を未然に防ぎ、当グループで働く全ての人々が安心して会社生活を送れるよう、労働安全衛生マネジメントシステム(以下、OSHMS)の導入を決定しました。

当社の OSHMS 導入における一番の特色は、グローバル化に対応して経営の質を上げるため、国内外の事業連結 41 社全てが展開することを規程し、さらに、製造部門だけでなく、技術・開発部門、営業・事務部門等、例外なく従業員等全員が対象となっている点です。

OSHMS というしきみを形だけで回すのではなく、社員の意識にも働きかけ「運のいい安全」から、いつ、どこにいても「安全文化を構築している」と言われるまで、ハード、ソフト両面の充実に取り組んで参ります。

事例発表

2

「健康づくりのための取り組み」 ～メンタルヘルス問題を中心にして～

ソニー株式会社 人事センター産業保健部 産業医・医学博士 藤田 享宣

当大崎事業所は約 1350 名であり、産業医 1 名・産業保健師 3 名を中心に健康管理・支援活動を展開しています。毎月健康診断を行い、その後事後措置を実施し、また長時間勤務者にも対応しています。職場におけるストレスの増加が近年問題になっており、メンタルヘルス対策が重要となっております。それに対し、定期的な健診では GHQ12 項目健康調査票を、また長時間勤務者には web による職業性ストレス簡易調査票を用いて実施しています。啓発活動としては、ホームページ・一斉メール・安全衛生委員会を活用し、また研修としては E-learning、

研修会(マネージャー研修・セルフケア)を実施しています。最近、職業性ストレス簡易調査を開始して組織診断をし、さらに職場との職場環境改善対策の検討もしています。定期的な人事との連絡会にて長時間勤務者の管理、メンタル不調者の有無を確認しています。毎月の健診データをもとに職場巡視時には職場の健康状況を組織管理者に伝えています。メンタルヘルスケアの相談窓口は社内・社外とも確保しています。これらの活動の概要について紹介いたします。

平成20年度 安全衛生に係る表彰

厚生労働大臣表彰受賞者名簿

奨励賞

株式会社長谷工コーポレーション（仮称）東品川計画新築工事

功績賞

荒木 高明 地方じん肺診査医、独立行政法人労働者健康福祉機構
東京労災病院勤労者予防医療センター

平成20年度 安全衛生に係る表彰

東京労働局長表彰受賞者名簿

優良賞

浮間合成株式会社 赤羽製造事業所
HOYA株式会社 マスク事業部八王子工場

奨励賞

栗林運輸株式会社
東芝デジタルメディアエンジニアリング株式会社 日野事業所
鹿島建設株式会社東京建築支店（仮称）神保町3丁目アネックスビル新築工事

功績賞

布川 博永 足立・荒川地域産業保健センター長

安全衛生
推進賞

大島 敏雄 労災防止指導員、前田建設工業株式会社
酒井 茂 労災防止指導員、日本ビル・メンテナンス株式会社
鈴木 豊 港湾貨物運送事業労働災害防止協会東京支部埠頭安全衛生委員会 副委員長、
新興運輸倉庫株式会社
兵頭 道夫 労災防止指導員、東芝エレベータ株式会社
加藤 英明 渋谷・世田谷心とからだの健康づくり研究会副会長、株式会社ナカヨ通信機
渡邊 勉 労災防止指導員、西武鉄道株式会社
岩浪 勝二 労災防止指導員、岩浪建設株式会社
清水 久巳 労災防止指導員、東京都森林組合